

旭ヶ丘キリストの教会

主日礼拝順序

2023年8月27日

司会：千田俊昭
奏楽：千田祥子

黙 祷		一 同
讃 美※	讃 美 歌 3 「あめつちの」	一 同
主の祈り※	(聖歌表扉または讃美歌564番をご覧ください)	
讃 美	讃 美 歌 247 「おりをはなれ」	一 同
教会学校	絵 本 「沈 み か け た ボ ー ト」	牧 師
讃 美	讃 美 歌 338 「主よ終わりまで」	一 同
聖書朗読	創世記2:1-7	
奨 励	創世記の福音(第2回)	牧 師
主 題	「土の器を生かすもの」	
讃 美	讃 美 歌 517 「我に來よと主は今」	一 同
献 金	献金と感謝の祈り	
聖 餐		
頌 栄※	讃 美 歌 546 「聖なるかな」	一 同
祝 祷※		牧 師
来週の箇所	使徒行伝 6:1-7	

※印のところでは御起立下さい。

- ☆ はじめて集会においでの皆様。心から喜び、感謝してお迎え申し上げます。しかし、初めての方に無理な勧誘をするようなことは、一切いたしません。むしろ、そっとしておきたいと思うわけです。その態度を冷淡や不親切と誤解なさらないで下さい。
- ☆ 私たちは何派にも属さないクリスチャン個人の自由な交わりの教会です。聖書を学び、キリストに信頼し、キリストが与えてくださる神の義を何より大事にし、信じる者同志が兄弟姉妹として受け入れ合う群れです。
- ☆ 献金は神への感謝として、各自が自由意志で行うものです(2コリント9:7)。入り口に献金箱がありますので、どうぞご利用下さい。
- ☆ キリスト教について、あるいはどんな質問でも、いつでも遠慮なく牧師にご相談下さい。
- ☆ 第二礼拝後、軽食を用意してありますので、お時間のある方はどなたでも、ご自由にお召し上がり下さい。
- ☆ 二階に教会図書がありますので、どうぞご利用下さい。

旭ヶ丘キリストの教会 ニュース



《今週の歩み》

8/27(日) 聖日礼拝
/28(月) 13:30東北説教塾(一番丁)
/29(火)
/30(水)
/31(木)
9/1(金)
/2(土) 13-16子供オプンハウス



《祈りの課題》

- ① 家族の救いのために
- ② 礼拝に來れなかった人々のために
- ③ 教会学校の子供たちが救われますように

良書ハイライト

「ゴンチャロフの目に映った日本」

ゴンチャロフ著「日本渡航記」(東京:雄松堂書店,1969)

① この緑したたる色、たくさんの小舟を浮かべた入江や碇泊所、楚々とした軒を連ねている風変わりな町、丘々に囲まれた瀬戸を彩る一面の舞台装飾は、近くの方は鮮明に、遠い丘陵の彼方は蒼ざめて見える。すべてが現実のものとは思えないほど調和がとれていて絵のようであり、この風景は、すべて絵に描いたものではなからうか、魔法のパレエからそっくり取り出してきたのではないか、と疑うくらいだ。…至る所が一つの絶景であり、一幅の絵画なのだ。さながら巨匠の精緻な手すさびである。

② だが私は、奇妙な感情を込めて、これらの戯れに創造された、ほほえむような海岸を眺めている。こんな夢のような動きのない風景を見るのは不快なのだ。人間の姿はめったに見えず、動物たちすら見かけない。私はたった一度、犬が吠えるのを聞いたただけだ。人々のざわめきもなければ、生活のきざしも稀だ。番頭の舟のほかは、二、三人の裸の舟子や、鼻水を垂らした男の子や、目つきの鋭い娘っ子を乗せた小舟がおずおずと、あわただしく岸に沿ってすべるように走るのである。

③ この沿岸では、住民達はこんな風に住まなくてはならないものだろうか？ 住民達はどこへ隠れてしまったのか？ どうして彼らは海岸に群をなして、ひしめきあわないのだろうか。なぜ労働もざわめきもみられないのか。物音も、喧噪も、叫び声も、歌声も、何ひとつ一言でいえば人生の沸騰、詩人の表現を借りるならば、「鼠のあわただしさ」がどうしてないのか？